

首都圏大曲会会報 第30号

ふるさと大曲

題字 濵谷一男

令和3年9月発行 発行所：〒162-0054 東京都新宿区河田町6-6 教育情報プロジェクト気付 首都圏大曲会事務局
電話 03(3341)6339 FAX 03(6273)0081 eメール :info@e-prosjp.com http://www.supportlife.com



左、秋近づく、静かな湖面の田沢湖
右、難波田城公園の行田蓮(古代蓮)



野火止用水から分水して、水面光る平林寺の放生池



難波田城公園の蓮池には行田市から移植した「行田蓮」(古代蓮)が見事に咲いている

「新米のアキタコマチ」をお召し上がりください。

秋田県特別栽培農産物認証

*内城菌農法

画期的なパワーを發揮する内城菌は、
従来厄介者として処理されてきた食物、
魚肉、野菜等から出る生ゴミを、有機
肥料としてリサイクルします。これで
土壤は生まれ変わり、植物は栄養分を
吸収し易くなり、ここに有機肥料によ
る「内城菌農法」が可能となります。

生産者佐藤久男氏のこだわりは、こ
の肥料を使って生産する安全・安心の
有機米「アキタコマチ」です。

美味しさに稔りました。

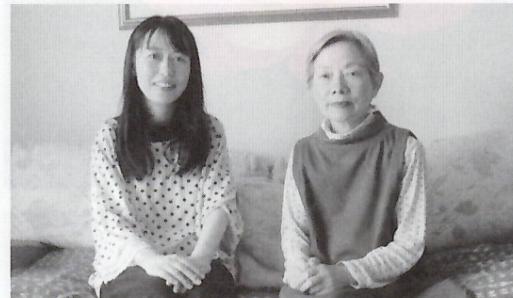
こだわりの
アキタコマチは
今年も豊穣な秋田の
土地で、日本一の

安全・安心
食感が自慢です。

『アキタコマチ』

内城菌パワーで
こだわりの
有機米

秋田の豊かな土地で育ったアキタコマチ。
「お正月の美味しいお米、ピッタリね」と、
今井通子様と石川直美様の仲良し親子
(神奈川県横浜市港北区)



内城菌パワーの有機米

アキタコマチ

愛用者のお宅 訪問



こだわり米の
アキタコマチ、
「新米の味は
格別に美味しい」と、
肥後ミツ様
(千葉県八街市)



「こだわり米のアキタコマチ」注文Fax番号: 0187-62-5614

*新米の発送は10月中旬になります。

ご注文の方は、どうぞFaxでお申込みください。

特別栽培こだわり米	5kg袋	10kg袋	20kg袋
①減農薬 化学肥料不使用 (内城菌有機肥料のみ散布土壤)	3,000円 (　個)	5,000円 (　個)	9,800円 (　個)
送料ご負担分	1袋200円	1袋400円	1袋400円
②減農薬 化学肥料40%使用 (内城菌有機肥料+化学肥料散布土壤)	2,300円 (　個)	3,800円 (　個)	7,500円 (　個)
送料ご負担分	1袋200円	1袋400円	1袋400円
ご注文合計数	(　個)	(　個)	(　個)
品物+送料合計	円	円	円

ご住所⇒ 〒

お名前⇒

電話⇒

◆販売量に限りがございます。売切れの節はご容赦願います。

○お問合せなどはご遠慮なく、お電話かFaxでお寄せください。

〒010-0103 秋田県大仙市高閑上郷字高屋敷42 生産・販売者 佐藤 久男

電話 0187-66-1702 Fax 0187-62-5614

ふるさとの情報

「四ツ屋まつり」
10月10日 開催！

新型コロナ禍で開催を懸念されていた「四ツ屋まつり」が、規模を極端に縮小して10月10日に、開催が決まりました。これは、地域住民の熱意と期待に応えたもの。祭りの内容は、まつりのシンボル「花火灯籠の展示」「パッチワーク・書道教室」の作品展示、「打ち上げ花火」(自宅周辺で観賞)に留めて縮小されています。残念ですが感染症収束までの我慢です。首都圏大曲会のみなさんも、首都圏からエールを送ってください。



首都圏大曲会会報『ふるさと大曲』第30号 目次

会報30号記念

会長アピール ふるさとを想う 首都圏大曲会会長 大釜 茂璋 : 4

首都圏ふるさと会と手を携え

大仙市の発展を目指す！ 5

大仙市移住定住促進課課長 高橋 進・首都圏ふるさと会担当 碇谷 真澄

懐かしい“思い出ボロボロ”

首都圏大曲会幹事座談会 「我がふるさとを大いに語る！」 6

◇BSフジ・AKB

「わがまま！気まま！旅気分」で 大仙市を訪問 11

大仙市で活躍する企業訪問 「出羽鶴」「刈穂」の秋田清酒株式会社 12

◇大仙市役所 新セクション紹介

人と人とをつなぐ 企画部交流振興課 20

◇ぶらり お住いの近所を訪ねて

小川 康さん 新座市の古刹「金鳳山平林寺」 16

なかもの作品 27

編集後記 27

首都圏ふるさと会情報プラザ 15
カメラ紀行（難波田城公園の蓮池） 24

首都圏大曲会 平成二年度会計報告、平成三年度活動方針 26

(写真・編集資料協力 大仙市、鈴木繁、小川康、飯島陽子、庄司靖子、大釜波琉)

地域の元気の
お役立ち♪



GRAN
MART
TAKAYANAGI



株式会社 タカラヤナギ

Tel. 0187-62-1234(代) <http://www.e-takayanagi.com>

30号記念 会長アピール

新型コロナ禍の中で ふるさとを想う

さわやかな風が吹く安堵感

首都圏大曲会会長 おお 釜 しげ 茂 あき 章



(大釜会長)

これが私の古里だ
ふるさと
さやかに風も吹いている

大正から昭和にかけて圧倒的な人気の詩人・中原中也の「帰郷」と題する詩の一節である。中原中也は山口県の出身で一九〇七(明治39)年、十八歳の春、上京をしている。

この詩を読むと私の気持ちは、久しぶりにふるさとに帰ったとき、あの何とも言えない安堵感、ほつと心が和む安心感を覚える。張りつめた気分が一瞬虚脱したような感じに襲われるこの感情は、中也の詩の世界だ。

私の場合、その時には風は吹いていないかもしれない。しかし旧大曲市を故郷とする人ならば、新幹線で長距離バスでもよい。長旅から開放され大曲の駅頭に降り立ち、「帰つて来たぞ」というあの開放感を伴う安堵感。喻えそのとき、誰しも風が吹いていなかつたにしても、さやかな風を感じる清涼感は、忘れかすかに甘く優しい大曲の香りだ。ふるさとの肌に接する幸せの一瞬だ。新型コロナは、私たちのこのような純朴な幸せを奪い取つてしまつた。ここ二、三年、帰りたくても帰れず、大曲の駅頭に立つた時の開放感を味わうことは出来なかつた。そして首都圏に暮らす「大曲人」として楽しめにしている、年一度開催して来た首都圏大曲会の総会も、この

二年間は、中止の憂き目に陥つてしまつた。

中原中也が山口から上京した明治38年当時は、交通機関や情報インフラにしても、現代に較べると格段に劣っていた。同時代に生きた詩人・室生犀星は「ふるさとは遠きにありて思うもの」と謳つた。この詩を読むとき私は、犀星の個人的事情は別にしても、この時代、ふるさとを後にした人々の、距離的な諦めの心境もあつたと思えてならない。

ふるさとは遠くない、手を伸ばせば届く地にある

私が上京した六十数年前は、大曲を発つて上野まで十三時間余もかかった。それが新幹線が通つた現在ではたつた三時間余。当時では考えも及ばない日帰りも可能な距離となつた。まして情報インフラの発達はまさに日進月歩だ。電話は必要なときは日本中はおろか、世界どこにでも即時つながるし、パソコンでもスマホでも恐るべき進歩を見せていく。今やふるさとは、遠きにありて思ふ存在ではない。交通機関や情報インフラの発達は、ふるさとの大曲を、手を伸ばせば届くような、近くにまで手繰り寄せてくれた。それだけ私たちは、ふるさとの温もりを直接肌で感じ、同時に喜怒哀樂を地元の人々とともに味わうことが出来る。

首都圏大曲会は、平成27年一部改訂の規約で、「目的」を次のように補足し謳つている。

「首都圏に住む旧大曲市出身者及び本会目的・信条に賛同する人の相互親睦を図るとともに、ふるさと大仙市発展に関わる貢献を信条とする。併せて大仙市との情報の交換を通じて、相互の発展に寄与することを目的とする。」

現在大仙市に住む人々と同じ意識をもつてふるさとに感謝し、地元に貢献する気持ちを忘れないと誓い合つたのである。

感動のうちに東京オリンピックとパラリンピックは無事に終了した。勝つても負けても、見ていて感動の涙する場面に幾度も接した。世界のアスリートたちがそれぞれの国代表として東京に集い、各国の誇りと榮誉を胸に奮戦し、そして感謝の言葉と爽やかな風、思い出を残し母国へ帰つて行つた。首都圏大曲会のふるさとを思う気持ちは、それぞれの国を代表して奮闘したアスリートたちの心に通じるものがある。

首都圏大曲会会報「ふるさと大曲」は、今号で30号を迎えた。発行の継続は、幹事、会員の協力とともに、地元大仙市の方々のご理解とご支援の賜物である。会報を通じてふるさとを思う一心は、信条とする「ふるさと貢献」につながるものである。

大仙市首都圏ふるさと会

新担当セクションと担当職員 ご紹介します。

ふるさと会のみなさんと手を携え

大仙市の発展を目指す！

この四月、大仙市では定期の組織改編・人事異動がありました。激動する時代の流れに対応させた組織の改変は、市の発展に重要な要素となります。今年三月まで、首都圏ふるさと会業務を職掌に置いてくださった企画部まちづくり課は、四月からこれが二つの課に分かれ、首都圏ふるさと会は新しく、企画部移住

定住促進課の担当となりました。新しく担当の高橋進課長と、担当職員の碇谷真澄さんをご紹介します。

旧まちづくり課の田口課長、担当の川原主任には、首都圏大曲会活動に際して大変ご支援頂き有難うございます。新セクションにおいても、更なるご活躍を期待し、お祈りいたします。

（大釜）



高橋 進課長

首都圏で大仙市の特徴や魅力を広めて欲しい

大仙市企画部移住定住促進課

課長 高 橋 進

首都圏大曲会の皆様には、皆様のふ

るさとである大仙市に対しまして、日頃からご支援ご協力を賜り心より感謝申し上げます。四月の定期人事異動により、移住定住促進課課長を拝命しました。当課は令和三年度の組織改編に伴い、これまでの「まちづくり課」が2課に再編になり新設されました。

主な業務は首都圏ふるさと会のほ

首都圏のみな様と大仙市民を結ぶ懸け橋に

大仙市企画部移住定住促進課

碇 谷 真 澄



碇谷 真澄さん

か、課名にもなっております移住定住促進、ふるさと納税及び地域おこし協力隊に関する業務です。新型コロナウイルスの影響により、首都圏大曲会の総会は2年連続で中止となり、会員の方々へ広くPRして頂ければ幸い存じます。

結びに、首都圏大曲会の更なる発展と繁栄、会員のみな様のご健勝とご活躍を心から祈念申し上げます。

私は、帝国ホテルで開催される首都圏大曲会の総会に、平成30年、令和元年と、ふるさとの味をお届けする物販担当として参加しております。立場は違いましたが総会で、首都圏大曲会の会員の皆様が、ふるさと大曲に寄せる思いに触れ、大仙市特にみなさまのふるさとである大曲が今後も魅力的なまち、元気なまちとしてあり続ける必要性を強く感じました。担当となりました現在、首都圏の皆様と大仙市民を結ぶ懸け橋にされるよう努めて参ります。

新型コロナウイルス感染拡大が収束し、一日も早く皆様にお会いできる日を楽しみに、会員の皆様のご健康を祈念いたしまして、任务のご挨拶とさせて頂きます。今後とも一層のご指導を賜りますよう、重ねてお願ひ申し上げます。



懐かしい“思い出ボロボロ”

首都圏大曲会幹事のみなさん

座談会 「我がふるさとを 大いに語る!」

新型コロナの影響は私たちの生活や行動に大きな制約を与えていました。それは誰もが楽しみにしているふるさとへの帰省すら適わなくしてくれました。そこで、首都圏大曲会の幹事さんたちに、ふるさと大曲市

で過ごした少年・少女時代の懐かしい思い出を、大いに語って頂きました。ふるさとで育った時代があつて、自分の今がある。それぞれの心の中につもあるもの、それが『私のふるさと』です。

いつも心に残る小・中学生時代

司会（大釜、以下司会）新型コロナ禍による自粛で、ふるさとがちょっと遠くなつたように感じて寂しい思いです。総会も二年続きで中止されました。

クラス、40名前後の規模で、今でも毎年同級会が開かれる仲の良い付き合いをしています。

囲炉裏も懐かしい 高畑小学校

富樫 私は生まれ育つた高畑の高畑小学校、現在は大曲東小学

がちんちん沸いていて、家庭的な雰囲気でした。

中学校は大曲中学校。大曲小、川の目小、高畑小の他に色々な地域からの入学者もいて何クラスにもなり友だちも多く、今まで親しく付きあっています。

幹事のみなさん、思いつきりふるさとを懐かしみながら、大いに思い出を語つて頂きたいと思ひます。

ところでみなさんの出身校はどうですか。ちなみに私は四ツ屋村百瀬の出ですから、近くの長野町立鎌見内小学校から四ツ屋中学校的卒業です。鎌見内小学校は小さな学校で一学年1



校と名を変えていますが、昔ながらの木造校舎で一学年1クラスの小さな学校でした。小使いさんが学校で生活していく、そこには囲炉裏があり、いつも鉄瓶のお湯

先生や友だちがいて「今の自分」があるという自覚

座談会出席者（50音順）

大釜 茂璋（幹事・会長）
大友 昭三（幹事）

古宮 理絵（幹事・事務局長）
佐藤 健（幹事・監査担当）
佐藤 律子（幹事・副会長）
古宮 理絵（幹事・事務局長）

佐藤 重光（幹事）
鈴木 繁（幹事・副会長）
田口 元也（幹事）
築地 良仁（幹事・副会長）
富樫 孝治（幹事）
田口 田口（幹事）

乳頭温泉郷
黒湯温泉

〒014-1201 秋田県仙北市田沢湖生内字黒湯沢2-1
TEL 0187-46-2214 FAX 0187-46-2280
HP <http://www.kuroyu.com>

JCI 大曲商工会議所
会頭 佐々木 繁治

〒014-0027 秋田県大仙市大曲通町1-13
TEL 0187-62-1262 FAX 0187-62-1265
URL : <https://www.omagari-cci.com>

学校、大曲中学校です。

大友昭三（以下、昭三）内小友小学校、内小友中学校で、現在の大曲西中学校です。

佐藤重光（以下、重光）現在の大仙市高関出身です。小学校は四ツ屋村立四ツ屋小学校で、中学も四ツ屋中学校です。

佐藤健（以下、佐藤）花館村旭町で生まれ育ちました。出身校は花館小学校、中学校です。

古宮 大曲とのつながりは、父の転勤がきっかけでした。当初は大曲市丸の内町に住みましたが、その後四ツ屋に住まいが変わりました。卒業した小学校は四ツ屋小学校、中学校は統合された大曲中学校です。

大友律子（以下、大友）出身地は昭三さんと同じ内小友で、小学校は内小友小学校、中学は大曲西中学校です。



大きな校舎が2棟建つて、子どもながらにも大きな学校だなと思った記憶があります。新潟地震の時、その校舎がうねるように揺れて、とても怖かったという思いがあります。



2列目向かって左から4番目の男の子が鈴木さん

チヤキチヤキの土屋館つ子です

鈴木 大曲町の土屋館で生まれ育ちました。付近には、タカヤナギや扇屋旅館、菅原酒店、備

前呉服屋などがありました。学校は大曲小・中と大曲です。

築地 大曲の通町、駅前のメイ

ンストリートに面したところで生まれました。学校は鈴木さんと同じ大曲小学校・中学校です。

司会 それぞれの地で多感な時代を過ごしました。遠足、学芸会、修学旅行など、今でも忘れ

は梅組でした。3年の時の担任は怖い先生で神宮寺から通勤していました。男子3人で、大人の自転車に三角乗りして先生の下宿に遊びに行つたことも懐かしい思い出です。中学校的担任は尾張谷先生で教科は体育。国体で学校を留守にしていた時、鉄棒で遊んでいて頭から落下。

み大きな校舎が2棟建つて、子どもながらにも大きな学校だなと思った記憶があります。新潟地震の時、その校舎がうねるように揺れて、とても怖かったという思いがあります。

緒の楽しい春のイベントでし



浦先生 も感謝 してい

ます。

浦先生には因縁めいた、忘れられない思い出があります。昭和31年に上京し、何十年後だつたか定かではありませんが、車で帰省したことがありました。花館

泊二日の日程で松島へ行きました。観光船で松島巡り、旅館の大広間での雑魚寝、お馴染みのマクラ投げの戦争ごっこなど楽しい思い出がいっぱいです。

朝食、夕食のご飯は、各自2合の米を持参した記憶があります。米不足の時代だつたが、宿泊代金を安くするためだったのかは定かではありませんが…。

られない子どもの頃の思い出、懐かしい先生や友人の思い出などをお聞かせください。

築地 戦後のベビーブームの時代ですから、小学校は松、竹、梅、桜、桃、桐、藤、萩組の8クラス、一学級が

60名の大世帯でした。30名学級を議論されている今では、考えられないことですが…

佐藤 中学は1年から3年まで担任は、同じ花館出身の三浦芳直先生。先生には良く叱られましたが面白も見て頂きました。

横手高校に入学できたのも、三直先生。先生には良く叱られましたが面白も見て頂きました。

佐藤 中学は1年から3年まで担任は、同じ花館出身の三浦芳直先生。先生には良く叱られましたが面白も見て頂きました。

横手高校に入学できたのも、三直先生。先生には良く叱られましたが面白も見て頂きました。

恩師 三浦先生が呼び寄せてくれた

恩師 三浦先生が

た。朝からグランドの土手に親の見物席としての陣取りをして、昼は家族と一緒に腹いっぱい旨いものを食べられて楽しかったものです。中学校の文化祭では食券を買い、それぞれのクラスの出店で「ウメーもの」を食つたなあ。学芸会の劇では、菊池寛作『父帰る』が面白かった。

大友 小学1年生の担任の先生は継田（つぎた）先生。若い女性の先生で、とても綺麗で優しい先生でした。遠足は、今は「余目公園」といつている、さほど遠くない場所でしたが、小学生には随分遠くにまで来たよう思いました。運動会には家族はもちろん、近所の人たちも大勢見に来ていた、春の一大イベントでした。お昼は重箱のご馳走で、青空の下、みんなで賑やかに食べて、おいしさも一人でした。

浦先生が亡くなつたと聞いて驚きました。早速先生宅を弔問し、納棺前の、安らかに眠るようなお姿にお別れすることができました。全く偶然でしたが、先生が呼び寄せてくれたような気がしたものです。

大友 小学1年生の担任の先生は継田（つぎた）先生。若い女性の先生で、とても綺麗で優しい先生でした。遠足は、今は「余目公園」といつている、さほど遠くない場所でしたが、小学生には随分遠くにまで来たよう思いました。運動会には家族はもちろん、近所の人たちも大勢見に来ていた、春の一大イベントでした。お昼は重箱のご馳走で、青空の下、みんなで賑やかに食べて、おいしさも一人でした。

浦先生のお蔭と今まで

筑地 小学6年の修学旅行は一泊二日の日程で松島へ行きました。観光船で松島巡り、旅館の大広間での雑魚寝、お馴染みのマクラ投げの戦争ごっこなど楽しい思い出がいっぱいです。

朝食、夕食のご飯は、各自2合の米を持参した記憶があります。米不足の時代だつたが、宿泊代金を安くするためだったのかは定かではありませんが…。

中学校の入学式は、現在、大



築地さんの現在の住まいは浅草
三社まつりの祭り姿もいなせだ

富樫 小学校

のとき、遠足は西根の天神山でした。もちろん歩いて行くのです。が、途中雨が降り出し、金谷橋の下で雨宿りをして、

曲工業高校のある中良野の校舎でしたが、二年後の卒業式は、大曲、花館、四ツ屋を統合した新築三階建ての、現在の校舎でやりました。

中学時代の思い出としては、57年前の東京オリンピックの聖火ランナーとして、オリンピックに参加出来たこと。中学時代は、野球部での活動が勉強よりも楽しみでした。顧問の三浦先生にはだいぶ鍛えられました。当時、大曲・仙北地区の強豪校は、大曲中、花館中、平和中でしたが、夏の大会では角間川中に1対0で負けてベスト8止まりでした。その試合の最後のバッターは4番打者の私でした。悔しくて泣いたことを今でも思い出します。

爛漫の桜の下で 運動会は楽しかった

古宮 春になると、雪が消えた田んぼの中の小川でドジョウ捕りが楽しかった。四ツ屋小学校

のことはない、あの時は金谷橋までの遠足でした。中学校の修学旅行は松島でした。

子どもの頃は、当時国宝の古四王神社のお祭が何より樂しみでした。夏は近くの川で泳ぎ、少し遠出をしたときは、途中の他所の畠のキユウリやナスなどを失敬して食べたり、川の中で投げ合ったり。田んぼの中に入つて体中に泥を塗つては川に入つて塗つた泥を落としたり。。田んぼの持ち主のおじさんに叱られて逃げたり、やんちゃ時代の思い出はつきません。

先生にはだいぶ鍛えられました。当時、大曲・仙北地区の強豪校は、大曲中、花館中、平和中でしたが、夏の大会では角間川中に1対0で負けてベスト8止まりでした。その試合の最後のバッターは4番打者の私でした。悔しくて泣いたことを今でも思い出します。

先生の趣味はエンジン 付きの模型飛行機

わざと渦巻の中心に入り、川底まで一気にくぐり、渦の外に出た。花火の夜は、自宅の二階や大屋

にては遊んだものでした。大曲の市理科発表会」があり、私はそれを参考にするなどして研究をまとめて、発表しました。先生はデータを借りて頂き、私はそれを参考にするなどして研究をまとめて、発表しました。先生は内小友在住の方でした。先生の趣味はエンジン付きの模型飛行機の組み立てと、それを飛ばすことでしたが、私は先生の飛ばした飛行機を追いかけて回収する手伝いをしました。今となつては、先生に遊んで頂いたことがあります。会人になってから同級生3人で先生のお宅まで押しかけ、夜遅くまで雑談したこともあります。懐かしい思い出です。

佐藤 水泳が大好きだった私は、夏ともなれば玉川と雄物川には松倉のスキー場まで行つて、そこで滑つたこともあります。春夏秋冬、私の子ども時代の思い出では、四ツ屋の光景と空気の中では、今も活き活きと膨らんでいます。

出羽鶴
秋田県大仙市戸地谷字天ヶ沢八三之一
お酒は二十歳になつてから、お酒はおいしく適量を。
・妊娠中や授乳期のお酒はお控えください。

TEL 0187(63)1224
FAX 0187(66)2277

大地の恵みとともに
秋田の心を醸す

伝統の銘酒
出羽鶴
http://www.igeta.jp/
e-mail info@igeta.jp

いつもありがとうございます

SHIMADAHAM

ドイツ伝統製法ソーセージ&ハム

株式会社 嶋田ハム

各種 贈答品承ります

TEL.0187-62-3278 平日 9:00 ~ 17:00

根に上つて見物しました。冬の楽しみは、花館の「川を渡る梵天」です。梵天と一緒に渡し舟に乗つたこともあります。梵天とともに嶽山に登り、伊豆山神社で餅まきに参加。本当に楽しい思い出として残っています。

鈴木 修学旅行は東京でした。見るもの、乗るもの、初めての経験で、とにかく東京の夜景にはドンしてしまいました。日光、横浜のメリケン波止場、羽田空港では初めて、飛んでいない飛行機を見ました。東急プラネタリウム、国会議事堂（法律をつくるところへエー）、靖国神社と、新

聞や雑誌で見るところを実際にこの目で見て驚き通しだったことを覚えています。宿泊先は上野の山下館。上野駅前周辺だったような気がします。

長時間かかった朝礼の全校集合にも

田口 ちょうどビーブームの頃でしたから大曲小学校の児童数は、全校で2000名を越えていました。体育館は全校生徒が集まるときなどは、全校生が集合するまではかなりの時間がかかりました。中学校は周辺の小学校から集まって来るので、これも大人数。A組からI組まで9クラスでした。これまで「昭和22年同期会」として、33歳の厄年、還暦、古希の祝いをやりました。次回は77歳、喜寿の祝いを予定しています。

重光 古宮さんが話したように、四

ツ屋小学校は校門の前に小川が流れていて、それに添つて桜の木が植わっていました。春には万葉の桜がありましたが、戸沢周介先生は、歴史を教える時は独特の身振り手振りで面白

いがありました。社会科や国語の授業で、花館の「川を渡る梵天」です。梵天と一緒に渡し舟に乗つたこともあります。梵天とともに嶽山に登り、伊豆山神社で餅まきに参加。本当に楽しい思い出として残っています。

鈴木 修学旅行は東京でした。見るもの、乗るもの、初めての経験で、とにかく東京の夜景にはドンしてしまいました。日光、横浜のメリケン波止場、羽田空港では初めて、飛んでいない飛行機を見ました。東急プラネタリウム、国会議事堂（法律をつくるところへエー）、靖国神社と、新

少年野球金谷町チーム



仲間意識が強い小学校同級生の絆

大釜 私が卒業した鎧見内小学校は、当時長野町（現在中仙町）の南地域、鎧見内地区の板屋や長戸呂など、当時の四ツ屋村に寄つた子どもたちが通つた小学校でした。全校生徒は二百人ちょっとの小さな学校でした

見事で、その下での運動会は心が浮き立つようでした。校門を入ると右奥に奉安殿があり、戦後その跡地に二階建ての中学校の校舎が建ちました。私たちはその四期生ですが、中学校には松倉小学校や鎧見内小学校の人々が加わり、クラスもA組、B組、C組と三クラス、百五十名になりました。数学と国語を教わった柿崎忠治先生や、秋田県の教育主事になられた佐藤康平先生は軍隊帰りで快活、生徒に人気がありました。社会科や国語の戸沢周介先生は、歴史を教える時は独特の身振り手振りで面白

く、講談を聞くような感覚で、身を乗り出して教わつたものでした。英語の小松和夫先生は野球が得意で人気があり、英語と音楽の小松策郎先生は、自宅が私と同じ高閑でしたから、卒業してからも大変お世話になりました。

身を乗り出して教わつたものでした。英語の小松和夫先生は野球が得意で人気があり、英語と音楽の小松策郎先生は、自宅が私と同じ高閑でしたから、卒業してからも大変お世話になりました。

りとした駒ヶ岳が望まれ、東には東山（奥羽山脈）が連なり、西には西山と呼んでいた出羽丘陵がせまる絶好のロケーションでした。今は長野小学校と統合のために廃校となりましたが、今でもしょっちゅう夢の中に出て来ますから、私には当時の雰囲気が忘れられない、思い出に残る学校でした。みんな年齢を重ねましたが、今でも年に一回の同級会を続けていますから、幹事さんのご苦労も大変ですが、仲間意識の強い同級生の絆が脈々と流れています。一年生の時の担任は西村悦子先生といつて、大曲女学校出の、若くて綺麗な先生で、「三十字」といって、好きな漢字を三十字書いて来て先生に見てもらうのが、それだけに家族的な雰囲気で和氣あいあいの学校でした。校庭には太く大きなしだれ柳があり、それが学校と言つて立つていて、それが学校によつて、その地域のシンボルでした。校舎の右側に女子児童の入口、左に男子の入口があり、真ん中が先生の入口でした。学校の東に、土地の人々は公園と呼んでいましたが小高い森があつて、春は桜、初夏ともなるとつじが咲き、冬はスキーと、文

字通り子ども達の遊び場でした。広々とした田んぼの向うに、南に鳥海山、北にはどつしきくござい」と、映画館主であ



大曲小学校。教室いっぱい、大人数での授業風景。後ろの黒板には、「日直当番 柴田・鈴木」「週番 大沼・竹谷」の名前が読み取れる。

でもお盆に帰省すると、「帰つて来た」と実感させられます。冬は、『ナタ漬け』、『キユウリの粕漬け』、『ガツコ』が美味しかったなあ。『ナタ漬け』は東京に送ると、気温の差のせいか味が変わるので、今では幻の漬物になりつつあります。

子どもの頃は雪も今よりも遙かに多かったように思います。かまくらやスキー、雪上での相

増水で、庭先までシワシワと水が浸水し、危うく床上ぎりぎりというところまで来て、畳をあげて二階に避難したことがあります。後に新築した時、高床にしたのも、洪水に備えてのことと聞きました。

怖いと思つた事は福辺（部）内川の洪水。今でも大雨が降ると丸子川の支流の福辺内川の増水によって浸水するようですが、子どもの頃は田んぼや堰のが、

のを初めて見ました。ヤマサの前は黒山の人だかり。小さな画面を遠くから眺めるものでした。だから番組の内容までは覚えていません。(笑)

秋田の冬の味覚「キリタンポ」、鍋」「しょつつの鍋」「ハタハタの塩漬け」「いぶりガツコ」「ナスの漬物」は大好物です。今は、東京の秋田料理屋でイッパイやりながら楽しんでいます。

る父親の呼び声が流れました。私はその親父を頼もしく、カッコいいなと思っていました。今なら騒音公害と言われるかも知

ふるさとの好きな食べ物は沢山あります、母は良く「寒天」をつくってくれました。その中に入る具は色々で、私は「くるみ」が入ったものが大好きでした。いちじくの甘露煮は、寒い頃食べる贊沢なお菓子でした。春になると、山から採つて来た「ヒメダケ」が、お味噌汁や漬物に入っていました。季節ごとの美味しい食べ物でした。夏は

店の名前は忘れましたが親と一緒に食べた「中華そば」が美味しかったことは忘れられませ。

怖かつた思いをした

田口 ヤマサデパートの前でテレビを観たのが強い印象として残っています。たぶん昭和29年

撲など、雪国ならではの楽しい遊びが沢山ありました。「こじも雪まつり」では嵩さ3メートルの「平和の大仏」像をつくづく

て、多分金賞だつたと思ひます。『大曲の花火』には、木下サーカスがやつてきました。その頃、花火そのものはほど賑やかなものではなかつたような気がしますが、楽しみだつたのは木下サーカスです。空中ブランコ、樽の中のオートレース、象の曲芸、メリーゴーラウンド、子どもの私には夢の世界でした。小学生の頃は野球少年で、練習に明け暮れました。小学3年当時、思ひもよば、大田町内は

は何でもおいしいと感じます。「い
ぶりガッコ」や、寒いほどおいし
い「なた割り漬け」は、特にふる
さと特有のもので、今でも田舎か
ら取り寄せて楽しんでいます。そ
れから忘れられない思い出を一
つ。中学の頃、クラスでヤギを飼
い、クラス全員で当番制で世話を

佐藤 子どもの頃に食べた漬物

鈴木 好きだった食べ物は、運動会のとき、母がつくってくれた色々な寒天料理。川内の里芋といか煮、みずの味噌和え、ヒロツコのかやぎなども、おふくろの味、それぞれの季節を感じて懐かしい。

時と思いますが、大曲町町内対抗の「金谷町チーム」の一員でした。ここで将来の野球チームを背負つて活躍した選手、監督を輩出しました。好きな食べ物ですか？　ああー、『わらびのおひたし』を食べたいなあ。『ボダッコ』で新米のアキタコマチのご飯を食べたい。『小茄子』があつたらサイコー！。

寺ノ思ひまさが、大曲町町内討

今回は小中学校から青少年時代について語っていただきました。ここで今回割り当てられた頁数がつきてしまいました。この続きを会報31号で語り合います。31号では、各自、「ふるさとの自慢の景色」「これからの大仙市への期待・要望」などに焦点を絞つて語って頂きます。それでは次号をお楽しみに。（12月発行予定）

の家の環境があり、独自の雰囲気があります。両親、兄弟姉妹友人と一緒に過ごした、家庭があり生活があります。それがそれぞれが生きて来た歴史です。

べずに泣いていました。遙か遠い中学生時代の思い出です。



大仙市の誇り、見事な“大曲の花火”

なかまの話題

BSフジ & AKI (秋田テレビ)

6月19日 「わがまま！気まま！旅気分」

旅番組で大仙市にスポット

「大曲の花火」や、おいしい米や酒どころ

旅のスタートは、大仙市が誇る花火伝統文化継承資料館「花火アム」からでした。伝統ある「大曲の花火」を語る時、中興の祖である佐藤勲さんを忘れる出来ません。この番組でも、かつて西、東に別れていたベルリンの花火大会で「大曲の花火」を打ち上げた時、一行の団長として参加の佐藤勲さんが、花火を打ち上げる空には、東西を分ける壁がない。みなさん一緒に仲良く花火を観て欲しいと言つた有名な言葉を紹介し、国際

花火で有名な大仙市は、アキアコマチに代表される美味しい米どころ、そして酒どころとして知られています。BSフジとAKT(秋田テレビ)は大仙市にスポットを当て、6月19日、「わがまま！気まま！旅気分」で放送しました。

的に知られる「大曲の花火」の殿堂と紹介しました。

大仙市の伝統工芸として檣岡陶園の登り窯が、お馴染みの淡いブルーや海鼠色の作品とともに紹介されました。普段使っていた甕や食器など、が懐かしく思い出されました。

森林迎賓館としてお馴染みの山の手ホテルは、美肌の湯としても人気があると言う。美味しいと評判の大仙産枝豆を使ったお料理は、帰った時ぜひ食べてみたい一品です。

赤いスイートグルメも「秀よし」の蔵や



大仙市長野の「秀よし」鈴木酒造店

米どころである大仙市は届けの酒どころです。テレビでも、大仙市には九つの酒蔵があると紹介していました。みなさん馴染みの「刈穂」や「出羽鶴」の秋田清酒、「秀よし」の鈴木酒造店など、市内に九つの有名酒蔵が存在します。テレビは三百年的伝統をもつ「秀よし」の酒蔵を取り上げていました。庭の桂の古木の幹に、いつの間にか山桜の木が育った不思議な面白さや、秋田農販の西瓜なみの甘さがあるイチゴ姫やハート型

の農産物も紹介されました。それらとともに、協和の唐松神社や大仙市が誇る池田邸や角間川の本郷家が紹介され、奥深い大仙市の観光地巡りも目をひきました。



心と心のふれあいのスペース
「婚禮・ご宿泊・レストラン」
ご利用をお待ち申し上げます。

大曲エンパイアホテル

〒014-0015 秋田県大仙市大曲白金町8番17号
Tel 0187-63-1131 Fax 0187-63-1541
URL <http://o-empire.com/>



秋田清酒株式会社

イゲタマークは井戸と水。
イゲタの中は日の丸。日本
の伝統文化である日本酒を
守り、発展していく意志。

1972 (昭和47) 年7月1日設立

秋田清酒株式会社 概要

設立	1972年7月1日 (創業年: 1865年)
代表者	代表取締役 伊藤 洋平
関連会社	出羽鶴酒造株式会社 刈穂酒造株式会社
事業内容	1. 出羽鶴酒造及び刈穂酒造で 醸造された日本酒・焼酎・ リキュールのびん詰・貯蔵 ・販売 2. 酒粕など副産物の販売
所在地	〒014-0801 秋田県大仙市戸地谷天ヶ沢 83-1
電話	0187-66-1224
FAX	0187-66-2277
Mail	info@igeta.jp
URL	Https://www.igeta.jp



伊藤洋平社長

「出羽鶴」「刈穂」と言えば、秋田県内でも大曲・仙北地方では特に名の知られた日本酒です。秋田県といえば国内でも酒豪が揃う、日本酒を愛する県として名を馳せます。それは「出羽鶴」「刈穂」といった全国屈指の美味しい酒の生産地であり、特に大仙市は七つの有名な酒蔵が点在し、市の主要産業となっています。会報第30号の「大仙市で活躍する企業」は「出羽鶴」「刈穂」でお馴染みの秋田清酒株式会社をお訪ねしました。

社会の変革に対応

— 秋田清酒株式会社の創業について
伊藤洋平社長 (以下社長)

一九一三年に設立された出羽鶴酒造、刈穂酒造、一八二七年創業の京野酒造店の3社が共同出資して一九七二 (昭和47) 年に設立しました。戦後の復興がなり、沖縄復帰、札幌冬季オリンピック開催の年です。3社で醸造する日本酒を瓶詰めし、販売する会社として誕生しました。一九七〇年代は全国

『和醸良酒』『伝統から生まれる革新』をモットーに高品質酒を提供する

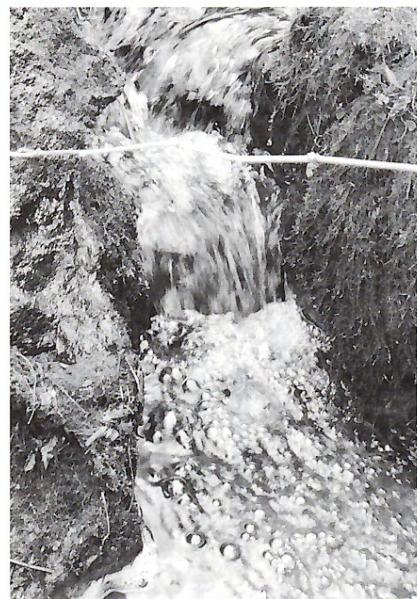


刈穂酒蔵正面。最も古い建物は1850年の建造

的に日本酒の量産化が進み、地方蔵でも、スケールメリットを生み出す必要がありました。その一環で生まれた。

た会社です。

——出羽鶴酒造創業の歴史についてお話し下さい。
社長　出羽鶴酒造の創業家である伊藤家は、一六〇〇年代（一七



出羽鶴仕込み水の水源。
やわらかで清冽な湧水で仕込まれる

世紀）の初め、西日本から秋田へ移住して来ました。南楯岡（現大仙市南外地区）で開墾と農業に従事し、江戸時代末期の一八六五年頃から酒造りを始めた歴史があります。一九一三年に酒蔵を株式会社化した伊藤家十三代目の恭之助は、大正時代には国会議員を務め、また農業の振興や馬産事業にも力を入れた実業家でした。

日本酒の環境が「量から質へ」の変化

——日本酒消費側の環境や好みも大きく変わりました。

社長　昭和から平成に時代は移り、日本酒も「量から質へ」、市場の変化が起こりました。現在は量産酒から高品質酒へシフトし、出羽鶴蔵、刈穂蔵それぞれのポテンシャルを持つて製造した個性溢れるお酒を生産しています。特に出羽鶴蔵は純米酒、刈穂蔵は吟醸酒が主力となっています。

——それぞれの蔵の製造方針がありますか。

社長　出羽鶴蔵の酒造り方針は、「和醸良酒」。これは代々受け継がれている言葉で、米作り、酒造りの仕事に厳しく対峙する中で、蔵人同士に生まれる結束

を和とし、飲む人に幸せを運ぶ美味しい酒造りを意味します。

刈穂藏の方針は、『伝統から生まれる革新』。杜氏・蔵人のみんなで伝統的醸造法を独自に発展させ、蔵の独創性を打ち出した酒造りをしています。

— それぞれ創業時の酒名は?

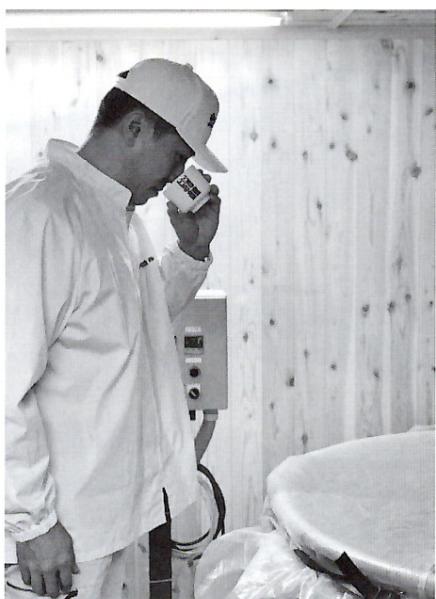
社長 出羽鶴酒造は「松乃友」、

刈穂酒造は「人丸」「神笑」といいました。

創業時の伝統を受け継ぐ「やまとしづく」

— 最近、「やまとしづく」という酒名を良く聞きます。

社長 「やまとしづく」は1994年に、秋田県の有志酒販店さんと当社で立ち上げたブランドです。ヤマトとは、創業家である伊

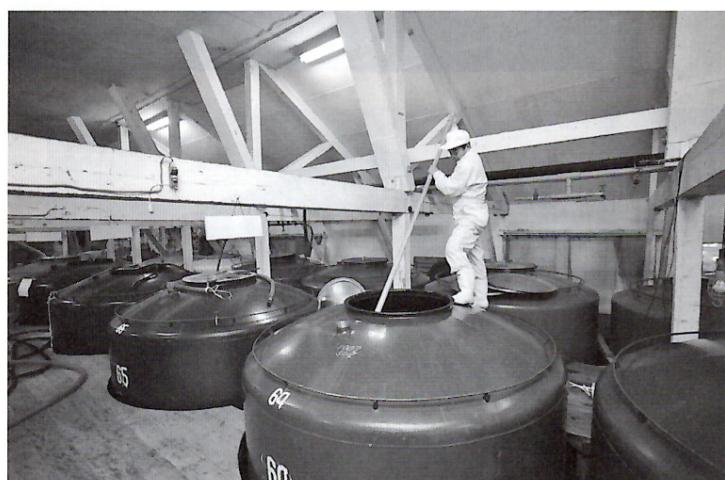


しぼりたての利き酒をする出羽鶴酒造
佐々木杜氏

藤家の屋号で、創業当時「ヤマト酒造店」と名乗っていたことに由来します。代々使用されている半纏などに屋号が刻印されています。今から百五十年前の創業者の精神と創業時代の酒造りを受け継ぎ、米も水も、蔵に隣接する地域のものだけを使用し、地域性のはつきりした、美味しい酒を造ることが「やまとしづく」のコンセプトです。

— 営業地域は全国展開ですか。

社長 主たる営業地域は、秋田県全域、北海道、仙台、首都圏、関西圏などです。お買い求め頂ける販売店は当社までお問合せください。「やまとしづく」の販売店は、当社ホームページにも掲載しております。「やまとしづく」以外の商品は、当社ECサイトでもお買い求め頂けます。



出羽鶴酒造の寒仕込み。12月～1月にかけて高級酒が仕込まれる

— 国外への進出状況は?

社長 一九八七年から積極的に輸出に取り組んでいます。現在は、北米・欧州・東アジアが中心で、全体の9%が海外への輸出です。

— 水害に遭われ大変でした

社長 4年前の7月、南外地区の出羽鶴酒造蔵が浸水し、精米所を中心に大きな被害を受けました。しかし多くの方々のご支援もあり、その年の酒造時期までにほぼ復旧することが出来ました。本当に感謝しております。

— 御社の企業理念は何ですか。

社長 男子二十二名、女子十二名の総勢三十四名です。社員の平均年齢は四十五歳です。

— 福利厚生活動などは……

社長 現在は新型コロナ禍で思うような活動は出来ませんが、それでも感染対策を図り社内懇親会など親睦を図っています。



刈穂酒造の仕込み。タンクのもろみに櫻入れを行なう

— 今後の経営方針をお聞かせください。

社長 日本酒造りはもともと、自然や農業と一体化した産業で

原材料米も醸造も全て純粹の大仙産を目指す

— 今後の経営方針をお聞かせください。

した。当社はそこに立ち返って原料となる酒米の栽培に取り組んでいます。将来的には、蔵で醸造する酒の全てを自社や提携する大仙市の農家さんの範囲内で栽培し、お米も醸造も100%大仙市のお酒を目指します。

— 最後に、大仙市や愛飲家にひとこと。

社長 大仙市という酒造りに恵まれた場所で日本酒を醸造できることは、素晴らしいことと感謝しております。これからも大仙市ゆかりの方々を初め、国内外のみなさんに愛される郷土の

お酒を目指して頑張ります。どうぞよろしくお願ひ致します。

◇インタビュー を終えて

伝統を守つて、生真面目に、酒造りに勤しむ姿を見た

「出羽鶴」「刈穂」と言えば、まだお酒を飲めなかつた子どもの頃から、



刈穂酒造の麹作り。一麹、二酛(もと)、三造りと言われ、麹は酒作りに最も重要と言われる

それは酒を飲める年代になつてからは一層親しみを増したものです。長い歴史を有するそれぞの蔵の信条である『和醸良酒』『伝統から生まれる革新』が、そのままこの酒蔵が醸造する、まさに生真面目なまでの酒の味を象徴しています。酒の原材料である米も、その酒を醸造する人々も、純粹にふるさと大仙市で賄うと言う経営者の、秋田の土地を愛する強い情熱・意気込みを感じました。(大釜茂章)



蔵元自宅前の酒米栽培田、9月下旬に稻刈りが行われる

首都圏ふるさと会 情報プラザ

年結成30周年を迎えるました。新型コロナの影響から、祝賀会を取り止め、30年の経緯を振り返る記念誌(A4版38ページカバー印刷)を発行しました。

□大仙市ふるさと会総会中止相次ぐ 収束を見せない新型コロナ禍により総会を中止するふるさと会が、首都圏大曲会をはじめ相次いでいます。毎年6月に開催していた大仙市首都圏ふるさと会懇話会をはじめ、八月末

□ドンパンふるさと中仙会 30周年記念誌「時の流」を刊行。旧中仙町をふるさととする人々を中心に結成されたふるさと会「ドンパンふるさと中仙会」は、今

□大仙市観光情報センターをリニューアル 大曲駅西口に增设されたエスカレーターの稼働開始と、インフォメーション「グランボール」のリニューアルオープンを記念するイベントが8月4日、大仙市観光情報センターで華やかに行われました。

□大仙市温泉情報センターをリニューアル 大曲駅西口に增设されたエスカレーターの稼働開始と、インフォメーション「グランボール」のリニューアルオープンを記念するイベントが8月4日、大仙市観光情報センターで華やかに行われました。(『だいせん日和』9月号より)



乳頭温泉郷 黒湯温泉

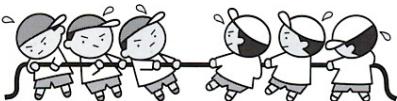
刈入れ前の湯治客で賑わう

四季を問わず、訪れる人の心を癒してくれる日本の秘湯・乳頭温泉郷は、新型コロナ禍のこの夏も、家族連れや刈入れ前の湯治客で賑わいました。

乳頭温泉郷で一番奥に位置する黒湯温泉も、山間の澄んだ空気が気持ちがいいと、東京から孫と一緒に温泉を楽しむ家族もいました。経営者の池田さん夫妻も、にこやかに宿泊客に声をかけ写真に収まっていました。

今まで首都圏大曲会事務局に連絡があつたふるさと会は、ドンパンふるさと会、首都圏にせんぼく会、首都圏嶽雄会、東京協和会、ふるさと南外の会、ふるさと太田会です。各会員を中心としたふるさと会が、ふるさと会員をはじめ総会に出席する人の感染防止、健康を考慮するとやむを得ない決断です。

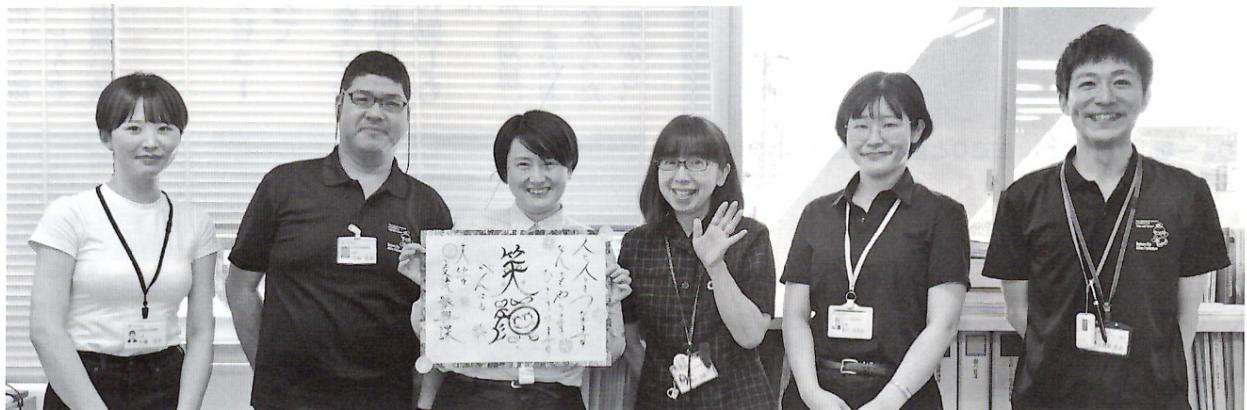
新部署をご紹介します



飛翔する
大仙市

人と人とをつなぐ

企画部交流振興課 KOURYU SHINKOKA



ワンチームとなって業務に励む大仙市交流振興課員。向かって左から三番目が山田由紀子課長

激動する現代社会においては、それらの動きに対応して、躊躇なく行動を起こすことが大事と言われています。今年四月、大仙市役所でも定期の人事異動、組織改編が行われました。組織改編において、新しく設立された企画部交流振興課（山田由紀子課長）は、時流に合わせ、大仙市の将来あるべき姿が期待されます。そこで、交流振興課新設の目的や趣旨について、お話を伺いました。

人が活き人が集う夢のある 田園交流都市——大仙市

大仙市は「人が活き人が集う夢のある田園交流都市」を将来の都市像に掲げています。企画部交流振興課の役割は、国内外の都市と交流を図ることにより、大仙市の新たな価値や魅力を見出し、地域活性化を図ること、そして多文化共生を推進することです。

何よりも交流振興課職員の経験が、元保育士、旅行業取扱管理者などの資格所持者だったり、あるいは留学の経験者等多様なところが目立ちます。全員それが立場から、友好都市との市民交流の拡大、外国籍住民のための住みやすい環境整備や、自分たちの文化を理解し、大仙市の魅力を高め、発信していく「市民参加型イベント」の開催など、それぞれの目標を掲げて業務に励んでいます。

国内外の都市との交流で、大仙市の活性化を図る！

国内外の多様な都市
との交流促進を図る

大仙市は、岩手県宮古市や神奈川県座間市、宮崎県宮崎市、海外では韓国・西海岸に面した唐津市（たんじんじ）と友好交流都市の協定を締結し、様々な交流をしています。また、大仙市の子どもたちと、秋田市の国際教養大学の留学生との交流、災害時の外国人支援ボランティアの養成、外国籍住民のサポート、大仙市国際交流協会の事務局など、事業内容は多岐に渡ります。昨年度から、新型コロナ禍の影響で、対面の交流は難しく、従来の関係を継続していくために、オンラインでの交流を積極的に行っています。花火と同じように「交流」には壁がありません。交流振興課ではこれからも都市、団体、個人を問わず、人と人とを繋ぎ、だれもが心豊かに暮らせる地域づくりへの貢献と、市外の皆さんからは、大仙市のファンをもっと沢山増やしていきたいと思っております。

首都圏大曲会のみな様にも首都圏で友好交流都市の方々とお会いした時は、わがふるさと大仙市と交流しているこ

とを話題にして頂き、関係人口の増加に一翼を担つて頂きたいと思います。

戊辰戦争にまつわる 宮崎市と大仙市の交流

今から百五十年前の一八六八年、戊辰戦争が日本各地で起きました。新政府側に立った秋田藩の援軍として、薩摩、長州、佐土原藩（現

戊辰戦争にまつわる 宮崎市と大仙市の交流

在の宮崎市)を含む14藩約8千人(うち佐土原藩一〇〇人)が駆けつけました。大仙市協和付近は秋田藩の防衛拠点のため烈しい戦いとなり、佐土原藩士8名が戦死しました。そして戦禍から一二四年後の平成4年に、秋田を訪れた宮崎の人が、戦死した佐土原戦士を協和の方々が手厚く供養していることを知り、そ



上は宮崎の海でサーフィンに興じる大仙市の中学生。下は、初めてスキーを経験する南国・宮崎の中学生



ます低く



頭を守り



動かない



「アウト訓練」を実施しています。「シェイクアウト訓練」とは、日常生活の「その時いる場所」で実際に地震などが起きたとき、どう対処し、どう行動するかを、市内一斉に実施する訓練です。二〇二一年一月23日は、両市で9万4千人以上の市民が参加しました。

右の写真は、「地震だ！」という声で、安全な机の下に一時避難する大仙市職員。上の絵文字は、災害時、咄嗟の行動を分かり易く説明する

山田課長が手に持つ色紙—交流振興課のモットーとする「人ととをつなぎます。なんでもやります、ひきうけます。『笑顔』でがんばる 大仙市交流振興課」とある

それからはお互いの特産品を地元の道の駅などで販売する物流支援事業のほか、青少年交流で、宮崎の子ども達を冬の秋田に招待してスキー体験などを、夏は秋田の子ども達を宮崎に派遣しサーキュレーション体験などを行っています。

今年度新たな事業として、プロ野球のキャンプ地である宮崎市に、大仙市中学生野球部員を派遣し、プロ野球選手の練習を見学できる体験を計画しています。

「災害時における相互応援協定」を締結、平成27年3月21日の大仙市制10周年の節目に友好交流都市協定を締結しました。平成10年以降毎年、両市の市長が災害対策連絡会議のため相互訪問。この他にも全国500歳野球への参加や市民団体交流、青少年交流を行っています。

また毎年1月23日に両市、同日同時刻開催の「シェイイ

宮古市とは

大災害時に置ける 秋田・岩手 横軸連携相互援助に関する協定

市職員の人事交流や
花火への招待なども

お隣の県である岩手県宮古市と大仙市は、以前から「大手横軸連携相互援助に関する協定」を締結していました。大仙市と、太平洋に面した大きな港を持つ宮古市は、盛岡

市を経由して田沢湖線と山田線を繋ぐと、一本の鉄道で結ばれる、いわば親しい隣町と言った関係が成り立つのであります。

従って、東日本大震災や、平成29年に大仙市で水害が発生したときに、相互に災害支援を行っています。その他にも、市役所職員の人事交流の

ほか、全国花火競技大会「大曲の花火」への東日本大震災の被災者慰労のための招待事業、両市の産業まつりの特産品ブース出店など、観光、物産交流も行っています。令和元年には「有効交流都市協定」を締結し、ますます両市の絆は深くなっています。

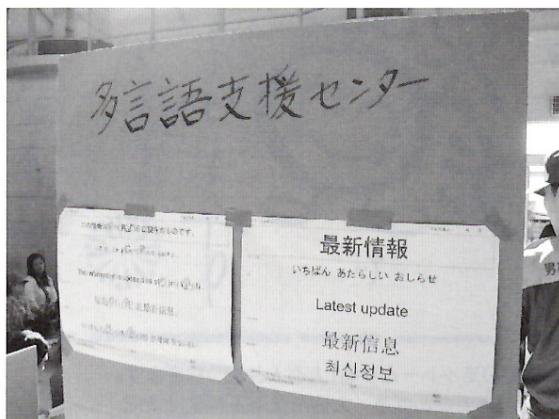


国際教養大学留学生と大仙市との子ども達との交流風景

国際教養大学留学生と交流

大仙市の園児・児童・生徒

異文化理解 を深める



大仙市防災訓練での「多言語支援センター」開設訓練

大仙市は平成21年、秋田市との国際教養大学との間に「国際交流に関する連携プログラム協定」を締結しました。同大学は世界各国からの留学生を迎えており、日本でも数少ない国際色豊かな大学です。同協定の締結によつて、大仙市の小中学校や保育園児たちは、国際教養大学の学生たちと活発に交流を行っています。

この活動は、今後一層国際化が進む時代、これから活躍が期待される年齢層には必須の経験であり学習です。大仙市の子どもたちは国際教養大

学を訪れて、キャンパスツアーや図書館などを利用するなど、大学生活を体験できるのです。
また国際教養大学の留学生たちは、大仙市内の学校等を訪問して日本の学校行事に参加する体験が出来、それによって奥深い相互交流が可能となります。

こうして大仙市の子どもたちは、秋田に居ながら留学生と交流して異文化を学び、経験を深めることができます。そして外国語で会話することにより、国際的なコミュニケーション能力を養うことが出来ます。



(名)鈴木酒造店
大仙市長野字二日町9
電話0187-56-2121

未成年の方にはお酒をお販売しません。

ひでよし——ひょうたん
お酒を注ぐ時に聞こえる「こぼこぼ」という音も、より一層お酒をおいしく感じさせてくれます。軽快な口当たりと爽快感をお楽しみ下さい。

本醸造生貯蔵酒
300ml ￥389(税込)

外国人技能実習生受入団体

だいすき協同組合

代表理事 赤木 達司

TATSUSHI AKAGI

携帯/090-1353-7455 E-mail/dc284752@kg8.so-net.ne.jp
□東京本部 〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋1丁目39-7 ライオンズステーションプラザ三軒茶屋604
TEL 03-6320-0117 FAX 03-6320-8339

刈和野の大綱引き

てんじんし 唐津市と大仙市友好のきっかけ

友好交流都市締結10周年の記念事業として、韓国・唐津市を訪問し、同市関係者と記念撮影をする大仙市使節団一行



締結10周年を記念して大仙市を訪れた唐津市からの一行、半纏には「刈和野の大綱引|秋田県大仙市」の文字が読み取れる

唐津市の大学院生

「綱引き文化」の研究

韓国と日本

両市の伝統行事の大綱引きが縁で交流が開始されました。唐津市では、直径1メートル、長さ200メートルに及ぶ大綱引きが毎年4月に行われます。平成14年、

「友好交流増進協約」を結んで、これまで文化、青少年、スポーツ、行政等の相互交流を36回にわたって進めて来ています。

翌年、唐津市の「機池市綱引き保存会」の視察団が来日し、旧西仙北町の「刈和野の大綱引き」に参加しました。以降、お互いの綱引き行事に参加するなど交流が開始され、平成19年に「友好交流に関する協定」を締結。平成27年には、積極的に交流に取り組むことを目的とした

災害時、外国人支援ボランティアの養成

ボランティアの養成

唐津市の大学院生が韓国と日本の綱引き文化を研究のため、「刈和野大綱引保存会」に、関係資料の提供を求めてきました。

唐津市の大学院生が韓国と日本の綱引き文化を研究のため、「刈和野大綱引保存会」に、関係資料の提供を求めてきました。

翌年、唐津市の「機池市綱引き保存会」の視察団が来日し、旧西仙北町の「刈和野の大綱引き」に参加しました。以降、お互いの綱引き行事に参加するなど交流が開始され、平成19年に「友好交流に関する協定」を締結。平成27年には、積極的に交流に取り組むことを目的とした

「友好交流増進協約」を結んで、これまで文化、青少年、青少年、行政等の相互交流を36回にわたって進めて来ています。

災害時に、言葉はもちろん、その国や地域の文化、習慣を理解している外国人支援ボランティアが身近にいることで、外国籍住民の不安解消につながることを期待しております。

災害時に、言葉はもちろん、その国や地域の文化、習慣を理解している外国人支援ボランティアが身近にいることで、外国籍住民の不安解消につながることを期待しております。

▼取材にご協力いただけます
社会の変化は驚くようなスピードで進んでいます。日本国内は勿論、諸外国との交流は一層激しくなっています。最早、国や地域単位で生き伸びる事は考えられません。大仙市に新しく「交流振興課」が設置されたことは、時代のニーズに即した部署ということからも敬意を表します。まさに大仙市飛翔の一翼を担う期待は大きいものがあります。この課のチームワークの素晴らしさ。とにかく明るく陽気で、快活な雰囲気が、目的をやり遂げる期待感を膨らませてくれました。（大釜茂璋）



野火止地区は平林寺がシンボル。
堂々たる門柱

首都圏大曲会会員 お住まいの

ぶら~り 近所を訪ねて！

小川 康さん
富士見市在住の

首都圏大曲会の会員は埼玉県在住者が多いと言われています。埼玉の風情がどこかふるさとの大曲に似たところがあるのかも知れません。お住いの近くのぶらり旅も、埼玉の地が人気を呼んでいます。そこで今号は富士見市にお住いの小川康さんに、武藏野の趣きを残す新座市の古刹・平林寺をぶらり訪ねて頂きました。

武藏野の趣を残す、新座市の

きんぽうざんへいりんじ

南北朝時代からの古刹 金鳳山平林寺

春

夏
秋
冬、自然の

美

しさを見せてくれ

ま

すが、特に秋の

紅

葉の季節は美し

く、一九七七年（昭

和52年）には皇太子

時

代の上皇様が訪れており、

二〇〇九年

（平成21年）には

上

皇様が天皇陛下の時代、美

智

子皇后様とご一緒に再度訪

問

されています。上皇様は皇

太子

時代の戦時に、東京・

小

金井市の「小金井公園」に

疎

開されていますが、同じ武

藏

野の面影を残す平林寺の雑

木

林と、自らの幼年時代が懐

かしく重なつて感じられるの

かも知れません。

武藏野の清流 野火止用水にはホタルも

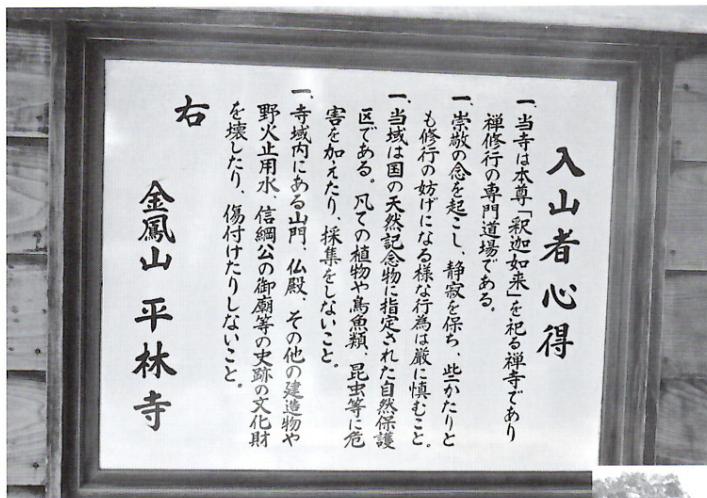
平林寺は今から六百有余年前の南北朝時代、現在のさいたま市岩槻区に創建されました。その後寛文三（一六八三）年、徳川幕府の三代将軍家



鬱蒼とした平林寺の林に添って道をたどれば総門の前に至る



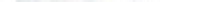
築350年余の風格たたえる平林寺の山門。岩槻から移転された際、現在の地にそのまま移転された。埼玉県指定の建造物有形文化財。



「崇敬の念を起こし、静寂をともち…」と入山者心得が掲げられている



参観者を迎える葺葺きの屋根が美しい平林寺総門。
総門扁額は「金鳳山(きんほうざん)」。前の門柱には
「臨済宗平林寺専門道場」とある



光・四代将軍家綱のもとで府老中を勤めた松平信綱の遺名により、現在の地「野火止め」に移転しています。

武藏野の色濃い平林寺境内



総門を潜って山門に通じる参道は、境内林の静寂に包まれている。時おり聞こえる鳥の鳴き声が一層厳肅な気持ちを増幅させてくれた。静かな平林寺である。

◇平林寺へのアクセス

平林寺への交通機関は、次のように電車やバスを使うと、思っていた以上に便利でした。下車駅は、東武東上線の「志木駅」南口からバス。東武東上線の「朝霞台駅」からバス。JR武藏野線「新座駅」南口からバス。すべて西武バスで「平林寺」下車。JR新座駅からのバスは、運行本数が少ないので要注意。車の場合は、国道254号「新座警察署」交差点を新座市役所方面に進み約1キロ。平林寺には民間駐車場以外、拝観者用駐車場がありません。

この日もウイークデーにもかかわらず何組かの家族が見えて、静かな平林寺境内林を散策していました。

この日もウイークデーにもかかわらず何組かの家族が見えて、静かな平林寺境内林を散策していました。

樹々を鮮やかに写し出していました。境内に添つて流れ清流には、首都圏では珍しくなったホタルが飛び交い、訪れる人々に武藏野の原風景を偲ばせてくれることでした。

樹々を鮮やかに写し出していました。境内に添つて流れ清流には、首都圏では珍しくなったホタルが飛び交い、訪れる人々に武藏野の原風景を偲ばせてくれることでした。

面が静寂を増しています。訪れた日は梅雨晴れの穏やかな「堀」が引かれ、透き通った水面が反射して、周りの光が水面に反射して、周りの

整然として広大な 平林寺境内林

武藏野の面影を残す平林寺でも、平林寺境内林は総面積13万坪と言われます。野球の殿堂東京ドーム9個分に相当する広さを持つ広大な松、椎、栗や楓など、様々な花や葉を

静寂を増す平林寺の境内林。

つける雑木林です。林の中を突き抜ける静かな散策路は南北に続き、訪れる人に安らぎを与えてくれます。夏は緑濃い涼風が通り抜け、秋ともなれば青楓や紅葉の色づきが訪問者の気持ちまで、鮮やかな秋色に染めてくれます。昭和43(一九六八)年には、

整然と伽藍を取り囲むように広がって、鳥の声が一段と

国の天然記念物に指定されています。

玉川から分水された野火止め用水は平林寺の生垣に添つて流れていて、あるいは平林寺境内に引かれたものを「平林寺堀」と言い、埼玉県指定となっています。

境内には由緒ある数々の建

物や門、塚なども多く見られます。中でも後年、「電力王」「電

力の鬼」と言われ、日本の電力事業の礎を築いた松永安左エ門や、新時代を切り拓いた日本画家として名を残した速水御舟の墓、島原・天草の一揆供養塔、業平塚、野火止塚などが目を引きます。

せいひつ 静謐の平林寺境内林

松風の音・清らかな野火止用水

野火止用水から分水して出来た放生池(ほうじょういけ)
透き通った水が美しい。中島には弁天堂が祀られている。



『ふるさと大曲』第30号

令和3(2021)年9月20日

編集人：首都圏大曲会 発行人：大 釜 茂 環

〒162-0054 東京都新宿区河田町6-6

教育情報プロジェクト気付

電話：03-3341-6339 Fax：03-6273-0081

eメール：info@e-prosjp.com http://www.supportlife.com

印刷・製本：秋田協同印刷株式会社

乳頭温泉郷

黒湯温泉

〒014-1201 秋田県仙北市田沢湖生内字黒湯沢2-1

TEL 0187-46-2214 FAX 0187-46-2280

HP http://www.kuroyu.com

パンフレット・ポスター・

冊子印刷＆製本など

印刷のことなら 何でも ご相談下さい。

原材料の仕入・固定コスト等、
秋田の立地を最大限に生かし
低価格・高品質の商品を
お客様にご提供すべく、
日々精進を致しております。

首都圏のお客様にも秋田協同印刷のモットーとする
『すべてはお客様のために』を『すべてのお客様のために』!
是非お感じ下さい!
ご連絡を頂ければ飛んで参りますので、
お気軽にお問合せを宜しくお願い申し上げます。

秋田協同印刷株式会社 首都圏担当

〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋1丁目39-7
ライオンズステーションプラザ三軒茶屋604

TEL.050-5820-4764

FAX.03-6320-8339

カメラ紀行

なんばたじょう
難波田城公園に古代蓮を訪ねて
(埼玉県富士見市下南畑)

旅人飯島陽子

(埼玉県ふじみ野市在住)

【写真協力 小川 康】



蓮池の古代蓮を訪ねた飯島陽子さん



難波田城城跡ゾーンに通じる本城門。冠木門(かぶきもん)の形式

本誌29号「カメラ紀行」で、埼玉県富士見市の小川康さんが紹介してくださった、難波田城(なんばたじょう)公園。東京から手ごろの近さにある公園として、特に埼玉県にお住いの会員には話題になりました。武藏七党の一つ、村山党に属すると言われる難波田氏は、戦国時代に活躍した勇将でその城跡は、現在、資料館のほかに水堀や土壘を復元した「城跡ゾーン」、富士見市内の古民家を移築して往時の農村景観を再現した「古民家ゾーン」などがあり、貴重な歴史や文化遺産を学ぶことができます。

公園の中には、行田市の「古代蓮の里」から特別に分けて頂いた「行田蓮」が咲く蓮の池があります。文字通りシンプルで清楚な花を咲かせる「古代蓮」は、鑑賞する人の気持ちを爽やかにし、現代に生きる人々の複雑な気持ちを洗い淨めてくれます。そこでお隣の市である、ふじみ野市に住む飯島陽子さんは、梅雨の晴れた七月のいち日、家族と連れだつて蓮の池の周りを散策してカメラに収め、編集部まで送つてくださいました。一部の写真は後日、編集部から小川康さんにご協力をお願いしました。



静寂に包まれた難波田城資料館。富士見市の歴史が展示されている



大きな蓮の葉に朝露の玉がまぶしく光る



蓮の池一面、静かに咲き始めた蓮の花が見事だった

蓮はインドが原産といわれる。盛夏の頃、紅色、淡紅色、または白の多弁の美しい花をつける。すがすがしいその芳香と姿は昔から極楽浄土にたとえられ高貴な花として尊ばれている。



極楽浄土を思わせる蓮(はちす)の花



可憐な古代蓮が清楚に咲いていた



静かに咲き揃う「行田蓮」

蓮は仏教の伝来とともに奈良時代の昔から、その時代に生きる人の鮮やかな情感の中に息づいていた。「ひさかたの雨も落らぬか蓮荷^{はな}に停れる水の玉に似たる見む」と万葉集に詠まれている。夏目漱石は「ほのほのと舟押し出すや蓮の中」と句にした。

交通アクセス

東武東上線と東急東横線、横浜みなとみらい線の相互直通運転（東京メトロ副都心線経由）志木駅下車。志木駅東口から東武バス「ららぽーと富士見」行き。「難波田城公園南口」下車徒歩7分。または「興禅寺入口」下車徒歩5分。或いは「下南畑」行きで、終点で下車徒歩13分。他に「鶴瀬駅」「ふじみ野駅」からのバスもあります。

首都圏大曲会 令和2年度 会計報告

(令和2年5月1日～令和3年4月30日)

首都圏大曲会
からお知らせ

令和2年度 会計報告

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	145,749	通信費	67,128
年会費収入	81,500	諸印刷費	262,743
広告掲載収入	188,680	広報費	16,724
大仙市助成金	150,000	消耗品費	37,469
		雑費	3,090
		次期繰越金	178,775
合計	565,929		565,929

令和2年度(令和2年5月1日～令和3年4月30日)の收支報告は左記の通りです。規約では総会に於いて参加者の承認を得なければなりませんが、新型コロナウイルスの感染防止という特別な事情発生(第三条 総会)にあたり、総会は幹事会の決議で中止と決定しました。そのため、事務局長の報

告に基づき会長決済を経て監査の承認を得て、ご報告致します。

を得て、

ご報告致します。

令和2年度の主たる活動は、会報「ふるさと大曲」第二十八号並びに第二十九号の発行と、それに伴う幹事会による発送作業に止まります。本期の会費納入者は80名に止まっています。会報「ふるさと大曲」の発行など

の活動には、会費は重要な資金です。

会費納入にご協力ください。

令和2年度 監査報告

令和2年度分につき収入・支出について、会計帳簿及び関係書類の監査の結果、適正であること認めます。監事 佐藤 健



令和3年度 事業案

首都圏大曲会 令和3年度 計画案
(令和3年5月1日～令和4年4月30日)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	178,775	通信費	80,000
年会費収入	110,000	会議費	35,000
東京で大曲の花火を見る会収入	280,000	諸印刷費	335,000
広告掲載収入	230,000	東京で花火を見る会	270,000
大仙市助成金	150,000	広報費	20,000
		消耗品費	50,000
		雑費	20,000
		次期繰越金	138,775
合計	948,775		948,775

令和3年度首都圏大曲会の事業計画は、新型コロナウイルスの感染状況に大きく左右されています。政府による緊急事態宣言は、人流の自粛、三密を避ける等の方針です。首都圏大曲会としても総会が中止されましたが、そのような事情から来年2月の

開催を予定している「東京で大曲の花火を見る会」は、事業案には入れてありますが、新型コロナによる社会情勢次第では、中止も考えられます。

従つて予算案は、一部変わることもあります。「花火を見る会」は12月には決定して、会報31号でお知らせ致します。なお会報「ふるさと大曲」は、30号、31号二回の発行を決定しております。

首都圏大曲会 ゆうちょ銀行の新口座

この6月から首都圏大曲会は、ゆうちょ銀行に新口座を開設しました。新しい口座番号は、【店番】138 【預金種目】普通預金 【口座番号】20455001です。会費(1,000円)送金等、お気軽にご利用ください。

葛の花咲く道

大友 末五郎

(首都圏にしせんぼく会)

木漏れ日の故里

(ふるさと
故里は空母)

黒皮 羽生

(首都圏大曲会)

なかまの作品



懐かしい「大曲の写真」

を探しています。

* 葛の花（くずのはな）——葛の花は8月から9月に開花します。花の色は赤紫をしていて、ノボリフジのような穂状の形が特徴です。下から上へと開花していきます。

三 話りつくせぬ夜が明けりや
別れの時が待っている
忘れないでと言う女（ひと）の
人目気づかう愛（いと）しさよ
葛の花咲く ふるさとよ

二 バスに揺られて 山里は
夕日に染まる 葛の花
紫色が葉隠れに
揺れてまた呼ぶ遠い日よ
いつまた逢える 友なのか

一 思い出したと 肩よせて
幼馴染の 国訛（くになまり）
手をさしのべた温（ぬく）もりに
ほのかに匂う葛の花
夢を結んだ こまち号

ひたむきな 恋にやぶれて
泣きに来ました ふるさとへ
子どもの頃に 日暮れまで
遊んでくれた 鎮守の森は
過ぎた昔と 変わらずに
微笑みはゆる 木漏れ日よ

辛くても 耐えていこうよ
泣いた涙は ふるさとの
葉陰に捨てて やり直し
憧れ抱いて つまづきながら
越えて咲かそう いつの日か
心配かけて 木漏れ日よ

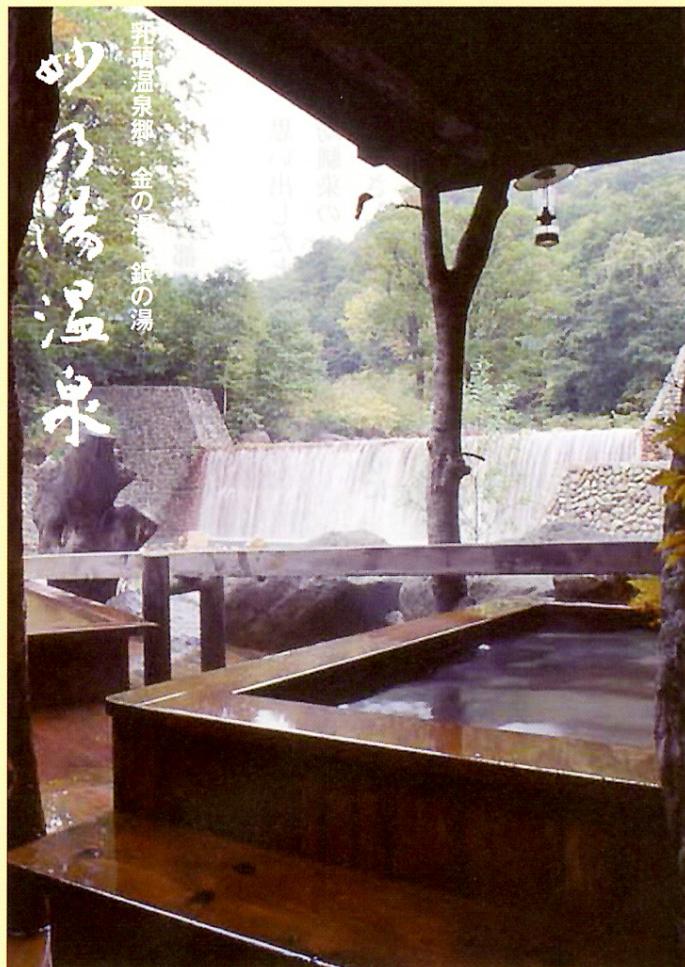
* 黒皮羽生（くろかわ ぱしょう）は、
首都圏大曲会幹事の佐藤重光さんのペ
ンネームです。大仙市高岡出身。

送り先：〒162-0054

東京都新宿区河田町6-6 首都圏大曲会事務局

編集後記

これまで毎日、テレビや新聞を見る度に気になることが、秋田の天気でした。学校で歌った唱歌の通り、雨につけ風につけ思い出する故郷でした。▼それが新型コロナ禍以来、「県別感染者数」が最大の関心事になってしまいました。幸い秋田県は鳥取、島根とともに感染者が少なく、ほつと胸を撫で下ろしたのですがその数字も4桁になると、秋田も予断は許されないと変わりました。誰もが感染予防意識をしっかりと持ち、頑張って頂きたいと祈る気持ちです。▼首都圏大曲会も総会は2年続きで中止となりました。毎年楽しみにしていた「大曲の花火」も、昨年に続き開催が翌年延期となりました。張りつめていた気力が萎えるようでは残念ですが、市民や観光客の健康を優先したとなれば、延期を決定した英断を高く評価します。▼総会の中止も二年続きとなると、幹事会の結束も緩みかねません。毎年の総会で出店してくださる大仙市の産物即売を楽しみにしている会員も大勢います。しかし三密を避けるためににはやむを得ない決定と、幹事会は判断致しました。総会の中止が会員同士の絆を弱めることは考えられません。ここは皆さん、懐かしいふるさとの存在を中心の中に描きながら、我慢の姿勢が大事です。会報「ふるさと大曲」が、会員の絆をより強く結びつける役目をしっかりと果したいと思っています。▼「朝の来ない夜はない」。希望を失わず、一人ひとりが自覚して頑張り抜きましょう。（大釜）



憩い 安らぎ 癒しの宿

秋田・十和田湖・八幡平国立公園

ここ乳頭温泉郷は、七湯の、素晴らしい良質の宿が点在しています。中でも妙乃湯は、関西から見た東の「金泉・銀泉」の二源泉を併せ持った誇れる宿です。また、こじんまりした秘湯の素朴さ、古きに新しさのバランスを備えた趣のある宿として大変喜ばれています。

014-1201 秋田県仙北市田沢湖生保内字駒ヶ岳2-1
電話0187-46-2740



秋田・田沢湖・抱返り渓谷 県立自然公園

田沢湖と角館の中ほど。紺碧の湖や溪流を見ながら緑に染まる木立の道を進みます。広い敷地と周囲の山々に包まれた「都わすれ」は、客室わずか10室。全室抱返り渓谷を見ながらのかけ流し露天風呂付きといふ、人里離れた理想の、くつろぎの宿です。

014-1113 秋田県仙北市田沢湖卒田字夏瀬84
電話0187-44-2220